

奈良中学校だより



よせとせよ奈良

令和5年度 第11号 令和6年1月25日(木) 発行

<学校教育目標>

「世界を小とせよ」奈良中生

- ・知性をみがく生徒(知)
- ・愛情深き生徒(徳)
- ・体を鍛える生徒(体)



奈良中キャラクター「ナラッキー」

4つの実践

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。



被災された方に思いを寄せる

熊谷市立奈良中学校長 松永 哲

元日に、新年のお祝いムードを一変させる災害が発生しました。能登半島地震です。亡くなられた方が200名をこえています。1ヶ月が経とうとしている今となっても、電気・水道などのライフラインが復旧していない地域が多く存在しており、復旧・復興にはこれからまだまだ時間が必要です。

報道等で、お正月の帰省中に被災し家族を亡くされた方や、倒れた家屋を前に呆然とする方へのインタビューを見ると、心が締め付けられる思いです。亡くなられた方に哀悼の意を表するとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

災害時の避難所等にもなる重要インフラである学校も被害を受けており、輪島市などでは多くの学校で再開の見通しが立っていません。先日は、中学生集団避難の報道がありました。災害時に親元を離れて、中学生だけで避難をすることは異例なことです。受験期ということもあり、勉強ができる安心感や友達との生活を楽しみにしている生徒もいる一方で、家族とともに復興に協力したいと、避難しない選択をした生徒もいました。避難した生徒は6割とのことで、生徒の中でも意見が分かれています。御家族も、地震におびえず少しでも日常が戻ることを願う反面、離れて生活することへの不安を口にされていました。

私たちにとっても、こうした災害は他人事ではありません。ここ30年を振り返っても、阪神・淡路大震災(1995)、新潟中越地震(2004)、東日本大震災(2011)、熊本地震(2016)と、大きな地震は多数発生しており、過去には関東地方でも関東大震災(1923)が起きています。

こうしたときに、私たちができることは、「現地の方への思いを寄せ続けること」「協力・支援を実行すること」「自分に同じことが起こったときどうするかを考えること」などがあります。本校では、現在生徒会本部が中心となって協力・支援できることを検討しています。

また、この機会に、地震発生の際の準備・行動を見直していただくことが大切です。今回、現地の方の「非常食でカップ麺を備蓄していたが、水が止まって食べられない。」という話を聞き、電気や水があることを前提にできないことを改めて理解しました。

本校では地震発生時のガイドラインを策定しています。震度5強以上の場合は、授業打ち切り、安全な場所への避難を行ったのち、通学路の安全確保・保護者への連絡のうえで、下校となります。(震度5弱では場合による。詳しくは学校HPを御確認ください。)

被災された方に一日も早く平穏な日々が戻ることを祈りつつ、本校でも災害対策を日頃から進めていきたいと思っております。

震度5弱以上

- ・壁や天井にヒビ、棚の本が落ちるなど。
- ・立っていることが困難になる。
- ・停電などが起きる。
- ※ テレビやラジオ等の情報に注意し、熊谷市の防災計画に従って行動する。

熊谷市の活動体制
震度5弱：災害対策本部
震度5強以上：災害対策本部自動的に設置される。

※参考：東日本大震災(H23)市内最大震度 5強

- 幼児・児童生徒の無事を確認し、一時的に安全な場所に避難させる。緊急メールを発信する。
- 授業を打ち切る。
- ・ ただし、震度5弱に限っては、施設設備等の安全が確認できた場合は、授業を継続することができる。下校については、下校時の注意を、必要に応じて、地区別に一言下校させる。
- 幼稚園・小学校では保護者の引き取りがあるまで、一時的に学校(園)で保護する。また、留守家庭等、状況に応じて留め置く。
- 中学校では、学校周辺及び通学路上の安全確認ができ、保護者等へ連絡がとれたら下校とする。連絡がとれるまでは留め置く。
- 施設設備の点検を行い、市教委に報告する。
- 避難所開設への協力
- 体育館等の避難スペースの確保と受入の準備
- 臨時休業等の適切な措置



<学校HP> 奈良中学校地震発生
対策ガイドラインより

東日本大会優秀賞受賞！（12/25）

年末に「TBS こども音楽コンクール東日本大会」が東京・江戸川区総合文化センターで開催されました。埼玉県代表として出場した箏曲部は、すばらしい演奏を披露し、優秀賞（2位相当・箏合奏最上位）を受賞することができました。おめでとうございます。「ここまで来られるとは思っていなかった。」「あと一歩で全国大会だったので悔しい。」などの感想がありましたが、3年生を中心に、ここまで本当によく頑張りました。



ODLを行いました（1/11）

ODLは、Open and Distance Learning の略で、オンラインを通じて外国の方々と交流する取組です。今回は、1年生が2人1組になり、フィリピンの方たちと英語で交流しました。10分程度で話し相手をローテーションするため、会話の相手が変わるたびに表情や会話が豊かになっていました。

生徒からは「名前を呼んでもらえるとうれしい」「楽しかった」「わからない英語があった」などの感想がありました。また、交流していただいた方たちからは「(奈良中の生徒は) アグレッシブでフレンドリーだ。」とのお話をいただきました。積極的な会話ができたようです。生きた英語を学ぶよい機会となりました。なお、2年生は30日に実施の予定です。



新入生説明会を開催しました（1/19）

19日に新入生説明会を開催しました。来年度入学予定の6年生は44名です。担当の先生から、中学校生活や部活動などの説明があり、熱心に話を聞く姿が見られました。「奈良中学校は落ち着いた素敵な学校です。夢と希望をもって入学してください。」との話がありました。入学式で皆さんをお待ちしています。



タグラグビー教室を実施しました（1/23）

23日に、1年生がタグラグビー教室を行いました。熊谷市を本拠地に活動する女子ラグビーチーム「ARUKAS KUMAGAYA」に所属する地元出身の松井選手に加え、日本代表の吉村選手、今釘選手に指導していただきました。トライしたときの楽しさや、小学校と違いタッチではなくタグをとることの難しさについての感想がありました。選手からは、「奈良中は男女関係なく誰もが積極的にプレーしていて、とてもよい雰囲気です。」とのお話がありました。楽しい時間となったようです。



<2月の予定>

1日（木）高校説明会（2年）
2日（金）性教育講演会（1年）
4日（日）アルミ缶回収・資源回収
5日（月）職員会議
6日（火）全校朝会
7日（水）公立高校入学願書等提出
8・9日 後期期末テスト（3年）
9日（金）小中PTA連絡協議会
10日（土）くまなびスクール
14日（水）専門委員会・登校指導日
14～15日 公立高校志願先変更期間
16日（金）学校運営協議会

17日（土）くまなびスクール閉校式
19日（月）職員研修・金曜授業
21日（水）公立高校入試（学力検査）
実力テスト（1・2年）
5時間授業・月曜授業
22日（木）公立高校入試（面接）
24～28日 テスト前部活動中止期間
27日（火）学年朝会
29日（木）後期期末テスト1日目（1・2年）
4時間授業

☆学校ホームページで、学校や学校行事の様子を日々更新していますので、ご覧ください。